

新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談に関する精神保健福祉センターの対応状況

新型コロナウイルス感染症にかかる心の健康相談について、5月に精神保健福祉センターで電話相談を受けた件数及び内容は以下のとおり。

【相談件数】

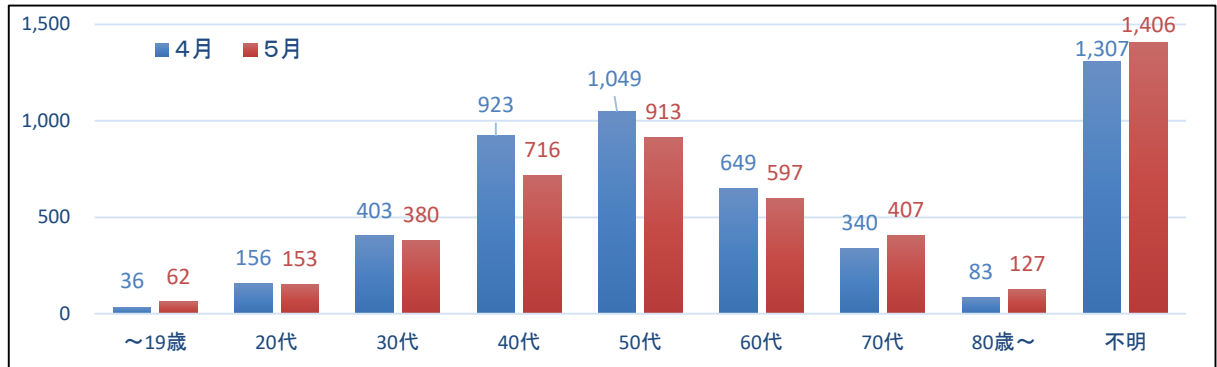
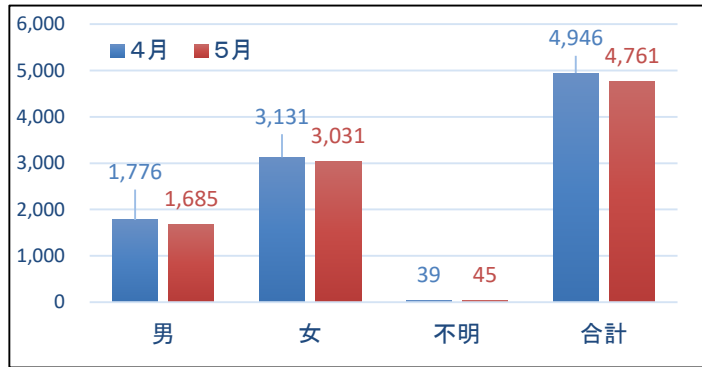
○都道府県・政令指定都市の精神保健福祉センター（69箇所）での相談件数 4,761件（前月比 ▲185件）

（男女別件数） （件）

男性	1,685
女性	3,031
不明	45

（年齢別件数） （件）

19以下	62	40代	716	70代	407
20代	153	50代	913	80以上	127
30代	380	60代	597	不明	1,406



【主な相談内容】

○心の不調

- ・感染しないか不安
- ・不安で心がおかしくなりそう
- ・新型コロナウイルスの報道ばかりで気が滅入る
- ・不安で眠れない
- ・うつ状態になり、やる気がおきない
- ・不安で精神症状が悪化
- ・気分が優れずイライラする

○生活に関する不安、ストレス

- ・コロナで失業し不安が増加
飲酒量増えてきた
- ・子どもの休校で生活リズムが乱され疲れる
- ・家族が在宅勤務で一日中家にいるのが辛い
- ・収入が減り、生活が不安

○外出や通院、通勤等に関する不安、ストレス

- ・外出自粛によりストレスがたまる
- ・通院先に感染者がいるのではないかと不安
- ・職場で感染しないか不安
- ・学校が再開した後の感染が心配

※相談を受けた結果、治療が必要な方については医療機関に、生活困窮の相談や職場に関する相談などについては、関係の相談窓口につなぐ対応を実施。

※2月7日～3月31日までの相談件数は、1,742件（公表時点までにあった件数修正報告反映済）